

東木ひさよ



ニコニコ通信 第18号

市民参加のオリンピック 「未来につながる レガシーを！」

H28年9月定例会で16回目の一般質問、並びにH27年度決算特別委員会が開催。一般質問では、市民参加型の「東京 2020 未来に残すレガシープラン」、超高齢社会へ障がい者も含む「一人を包摂する支えあいの地域づくり」をテーマに質問をしました。



市民参加のオリンピック・未来のレガシー(遺産)創出へ

東京2020オリンピックまで4年弱。オリンピックには「自分も頑張ろう！」と、気持ちを前向きにさせる力があります。「自分も何か関わりたい」と思う方も少なくないはず。ボランティア文化が根づくことが、今後の人口減少・超高齢社会の課題を乗り越え、全員主役のまちづくりの基盤につながります。『市民参加型』と『レガシー(遺産)』がキーワード。オリンピックを終えた後に、元気な未来につながる健康習慣や社会参加など、一人一人の心と生活、そしてふじさわのまちに“レガシー”を残していけるように、市民全員が目標を持って取り組める工夫を提案しました。



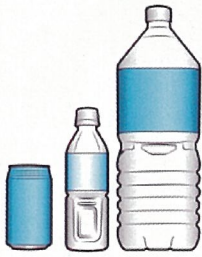
- ① 健康寿命延伸日本一へ、身体活動・健康づくりの推進！
- ② 幅広い分野でのボランティア参加で新たなボランティア文化の醸成！
- ③ カウントダウングッズやカレンダー等、市民が自分史を綴れる工夫を！
- ④ 地域が主体的に考え地域発の個性豊かなレガシーへの取り組みを！
- ⑤ 障がい者スポーツの啓発とネットワーク構築を！
- ⑥ 藤沢市独自の文化・芸術プログラムの推進・開催！

障がい者支援の充実、一人を包摂する豊かな共生社会の実現

医療技術の向上で、以前は失われた命が助かる素晴らしい時代になりました。しかし、重い障害を持ちながら、長期にわたる医療・生活を支える体制は脆弱なままです。特に小児科を卒業する18歳以降の医療、児童福祉法から障がい者総合支援法に移行する境目、切れ目ない支援について取り上げました。①障がい者向け医療相談の一元化、②計画相談支援員の拡充とスキルアップ、③訪問看護サービス情報が行き渡るように、④医療・福祉・教育とチーム型支援体制のコーディネーターの配置、等要望しました。併せて高齢者・障がい者・子ども誰もが利用でき、役割を担う「共生型デイサービス」の早期設置など、障がいの有無にかかわらず、誰もが自分らしく暮らしていける、心豊かな共生社会の実現を訴えました。



決算委員会・予算要望より (H28/10月)



○ゴミの個別収集(夏季期間ペットボトル・カン)について

夏場はペットボトル・カンのゴミが大量に発生します。隔週から毎週の回収を要望してきました。市では限られた人員と時間・経費の中で可能かどうか試行実施を重ねています。北部では、新聞古紙についても併せて、早期の実現を重ねて訴えました。

○若者の非正規から正規社員へ、雇用支援へ

雇用環境が改善されているとはいえ、非正規労働の割合は約 40%。特に若者は将来の見通しも立たず、正規雇用への転換を希望する方が多いです。毎年開催している藤沢市と鎌倉・大和・寒川との湘南合同就職面接会において、「正規雇用に限定」して実施するよう要望し、27年度は、参加者面接者も倍層、就職内定も4名から11名へと増加しました。今後も正規への転換への支援を訴え続けてまいります。

○うつ病予防・自殺未遂対策

市内の自殺者数はこの4年で90人から47人へと減少しましたが、一人残らず救いたいものです。H27年度、自殺未遂者80人に856件の相談対応。引き続き丁寧な寄り添う支援を要望しました。また、5年前に開設した時、3種類だった、ストレスチェックの「心の体温計」、タイプ別テストの「心のエンジン」は、『いじめ』、『若者向け』、『赤ちゃんママ』、『DVD』、『自死遺族』など9種類に。年代や悩みに応じたメニューが揃い、5万5千人が利用しています。うつ病予防・ストレスを溜めないように、さらなる利用促進を要望しました。

○ひとり親家庭支援の情報発信を

ひとり親家庭の支援メニューは、「資格取得・生活支援・高卒認定試験等」数多くありますが、当事者はゆとりがなく、知られていない状況です。そこで「ひとり親家庭応援メールマガジン」等情報発信サービスを提案しました。少しでも負担軽減できますように、今後も訴えてまいります。



藤沢市公明党として H29 年度予算要望を
鈴木市長に提出しました (10月7日)



東木ひさよプロフィール

藤沢市議会議員2期、北海道旭川市出身、道立旭川東高、明治学院大学卒。子ども文教常任委員会委員長、厚生環境常任委員会副委員長等を歴任し、2016年度は、総務常任委員会副委員長、議会運営委員会副委員長に就任。その他、行政改革特別委員会委員。

連絡先: 自宅TEL・fax88-1125 PCアドレスhisayo2011@yahoo.co.jp

東木ひさよフェイスブックQRコード

